

## 鳥羽市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	令和5年度第1回鳥羽市地域公共交通会議定期航路幹事会
開催日時	令和5年5月30日(火) 13:00~14:30
開催場所	鳥羽市役所西庁舎 4階 大会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ</li> <li>2. 新委員の紹介</li> <li>3. 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度 事業報告及び決算報告について(協議)</li> <li>(2) 令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について(報告)</li> <li>(3) 令和4年度 鳥羽市定期航路事業の状況について(報告) (定期航路旅客及び荷物輸送実績・決算見込み)</li> <li>(4) 地域公共交通計画実施計画の進捗評価及び見直しについて(協議)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標及び個別事業の評価結果</li> <li>・鳥羽市地域公共交通計画実施計画(令和5年度版)について</li> </ul> </li> <li>(5) 令和5年度 事業計画及び予算の書面決議結果の報告について</li> <li>(6) 生活交通確保維持改善計画の提出について</li> </ol> </li> <li>4. その他             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 鳥羽駅・佐田浜周辺地区における案内サイン改修の取組について (中間報告)</li> <li>(2) かもめバス路線再編に向けて</li> </ol> </li> </ol>
会議資料	事項書・席次表・委員名簿 <b>【資料1】</b> 令和4年度 鳥羽市地域公共交通会議 事業報告 <b>【資料2】</b> 令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果 <b>【資料3】</b> 令和4年度 定期航路旅客及び荷物区間別輸送実績集計表 <b>【資料4】</b> 鳥羽市地域公共交通計画評価指標及び個別事業の評価結果 <b>【資料5】</b> 鳥羽市地域公共交通計画 実施計画(令和5年度版) <b>【資料6】</b> 令和5年度事業計画及び予算の書面決議結果の報告について <b>【資料7】</b> 生活交通確保維持改善計画 <b>【資料別冊】</b> 鳥羽駅周辺サイン改修計画 <b>【別添資料】</b> 市内交通のあり方検討
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	1人
出席委員	立花会長、竹内委員、森吉委員、木下委員、西川委員、山本委員、小寺委員、濱田委員、高浪委員、福田委員
オブザーバー	なし
欠席委員	清水委員、齋藤委員、高木委員
事務局	企画財政課 小崎 定期船課 山本、西根、斎藤
<b>1. あいさつ</b> ○事務局長 ・開会 ・配布資料の確認 ・出欠報告 ○会長挨拶 本日はご多忙中にもかかわらず、各自治会の皆様、また関係機関の皆様にお集りいただきまして、誠にありがとうございます。日ごろの市政運営へのご協力に深く感謝申し上げます。 市営定期航路は、離島唯一の公共交通であることから、他の交通機関とは事情が異なり、すべての離島住民の生活にダイレクトに影響を与えるものです。今後、さらに人口減少や高齢化が進むと見込まれているなかで、いかにして時代の変化に応じて定期航路を最適化していくことは、将来の離島住民のく	

しへの「重大な責任」であると捉えております。

燃料高騰や担い手不足など、厳しい局面を迎えている中で、老朽化船舶の代替船舶の建造が本格化します。船形については高齢化等を考慮し、より多くの座席が確保できる双胴船の確保、バリアフリーにも優れた船としたところである。航路については、中之郷便をなくすことを基本に新船就航に合わせてのダイヤ改正などを進め検討中です。運賃については、今のところ維持をしておりますが、このまま燃料高騰が続くと厳しい状態となっている。近い将来ご相談申し上げなければならないということもあろうかと思う。

本日お集まりいただいた皆様で、持続可能な定期航路のあり方について、ご意見をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 2. 新委員の紹介

事務局より新委員を紹介。

## 3. 議題

### (1) 令和4年度 事業報告及び決算報告について

#### ○事務局説明

資料1により令和4年度鳥羽市地域公共交通会議決算（案）を説明。

#### ○委員の質問等

なし

#### ○採決

原案どおり承認。

### (2) 令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について

#### ○事務局説明

資料2により地域公共交通確保維持改善事業の二次評価を報告。

#### ○委員の質問等

なし

### (3) 令和4年度 鳥羽市定期航路事業の状況について

#### ○事務局説明

資料3により定期航路旅客及び荷物輸送実績・鳥羽市定期航路事業特別会計の決算見込みを説明。

#### ○委員の質問等

なし

### (4) 地域公共交通計画実施計画の進捗評価及び見直しについて

#### ○事務局説明

資料4・5により、地域公共交通計画実施計画の進捗評価及び見直しを説明。

#### ○委員の質問等

##### ・委員

評価指標チェックシートの乗継割引券利用枚数が他の券等に比べて多いが、この券はバスと船の乗継が対象ということで間違いはないか。また、主な利用者は市外に住んでいる方か。

##### ・事務局

マリンターミナルから中之郷までの区間の乗継が無料になるという券で、定期船窓口やかもめバスの車内でお渡しすることが可能。定期船利用者が増えたということに比例して割引券の利用枚数が増加したと思われる。主な利用者についてはおっしゃるとおり。

##### ・委員

離島の救急搬送体制の構築について、消防署の方を中心にフローチャートが新しくできて予算措置もかなり増額していただいた。進捗度が「予定どおり実施」になっているが、それが最終到達点ではない。他の部会で要望していることでもあるが、橋を架けるまでに専門の救急船をぜひお願いしたい。理由としては、今年の4月末からゴールデンウィーク期間中に答志の漁協が持っている八幡丸という

船が救急搬送のため、かなりの回数稼働していたことや、ひどい時は鳥羽へ搬送して戻ってきたらまた次の患者が出て、船を出さなければいけなかったというようなことがある。進捗度について文句はないが、現状としてそういったことがあるということを知っておいてほしい。

・委員

グリーンスローモビリティについて、自身も試乗したが、速度が遅いうえに桃取に行って和具へ帰ってくるとバッテリーが無くなるという状態なので、今年度はそういった点を企業と相談して試験的に進めたらどうかと思う。

・事務局

20キロ程度しか出ず4人乗り程度の車両で、国のお金を使って答志島で実証ということで一度やっているの、同じような形でもう一度やるというのは難しい。ただ、こういったことが可能かというのをいろんな所で実証という形でなら何かしらの検討余地があると思っている。

・委員

桃取の診療所へ帰る手段について、現在も車はあるがだいぶ古くていつ壊れてもおかしくない状態である。鳥羽市で新しい車を用意してくれたら問題は解決するが、そういった場面でグリーンスローモビリティ等を活用できたらいいと思う。車検が一昨日終わったが、カローラの係の方からは「これはギリギリやよ、本来この年数なら車検通らへん」というようなことも言われた。

・事務局

この車両は、視察対応で何度か使わせていただくこともあり現状は認識している。内部で相談する。

・委員

免許証の自主返納について、町民で返納に行った方からバスの本数が少ないと聞いた。案内の中に「何時のバスに乗って行って手続きを終えたら帰りのバスはこの時間」等の時刻に関することを入れて周知してほしい。

・事務局

検討します。

・委員

定期船に乗降船するときに双胴船はスロープでうまく降りられるが、古いスロープの無い船だと波の高い日や風の強い日は船も多少動くし段差があるので、高齢者や子どもにとって危険である。何とかしてもらえないか。

・委員（市）

単胴船は手動で開けるドアで段差もあり、車いすがある場合は折り畳み式のスロープを出したりするが、これもセンターに固定されないもので船員が足で踏んで固定して乗降してもらっている。波がある時はかえって危険だったりするので、高齢者の方は船員が手を差し伸べて乗降してもらっているような状態。単胴船の構造上、双胴船のようなドアを後付けするのは費用もかかるうえに難しい。

・委員

波の高い状況よりは普通に手動のものを使える日の方が多い。きちんと使われている日とそうでない日の差がかなりある。平常時は使ってもらおうという形にしてほしい。

・委員（市）

以前、検証したことがあるが、固定されていない・手すりの無い不安定なスロープではかえって危険な時もあった。折り畳み型のスロープのフチで躓く方もいたりした。コーンを設置したり色々したが、毎回ではなく必要に応じて船員が出す方が良くという結論に至った。

・委員

今使用しているものでいいので利用の仕方を固めていただきたい。平常時にかかっているともっとスムーズに行くのではないかと思う。旧船についてはスロープを用意しておくことを基本にしてほしい。

・委員（市）

出した方が良く場面ではなるべく出すようにしているが、スロープ自体そこまで強度が高くないので何人も同時に乗り降りするのは不可能。検討もしたうえで、必要な時に出す、お客様から声をかけられたら出すという対応をしている。

・委員

時刻のサインが故障中になっているのはいつになったら直るのか。また、個別事業評価チェックシ

ートに記載の定期航路のアプリ導入の件で、こちらはもう活用できるとなっているとのことだが、いつからどこでそのQRコードを見れるのかを教えてください。

・事務局

ターミナルの海側についているものはおっしゃるとおり故障中で画面が真っ暗になっている状態。そちらについては公共交通のシステムで作られたもので、修理をして頂いているが今はもう完全に壊れてしまっている。修理がいつごろ完了するかは未定。

・委員（市）

アプリについては何年前から徐々に言語を増やして行って、鳥羽駅についての外国人の方にアプリを見ていただき音声アプリの案内でターミナルまで行き、船に搭乗後も多言語で案内され情報が聞けるといふもの。周知をもっとしていきたい。

○採決

原案どおり承認。

**（５）令和５年度 事業計画及び予算の書面決議結果の報告について**

○事務局説明

資料６に基づき、令和５年度 事業計画及び予算の書面決議結果の報告について説明。

○委員の質問等

なし

**（６）生活交通確保維持改善計画の提出について**

○事務局説明

資料７に基づき、生活交通確保維持改善計画の提出について説明。

○委員の質問等

・委員

４つの有人離島には都会の人たちを惹きつける文化・伝統・歴史遺産が沢山あるので、その掘り起しを上手くして観光客の増加につなげることは未着手だと思うのでやって行ってほしい。そうすることで定期航路の乗客を７０万に近づけるといふ目標も達成できるのではないかと。最近外国人観光客も戻ってきているし、サイクリングで答志島を観光客が回るようになっているので目標達成するために頑張ってもらいたい。

・委員（市）

約７～８年前に島遺産１００選という冊子を作った。食・歴史・文化をかなり掲載しており、それが基本になると思う。おっしゃられた通り、最近はインバウンドのお客様も日本の自然のなかを歩くということに魅力を感じており、外国人が船に乗って一人旅をしているのを見かける。そういったところもしっかりと訴求したいと思う。どのようにするかが課題ではあるが、観光商工課にはフランス人の職員がおり、フランスへ直接アポを取ってやり取りをしていたりもするので、そのあたりも周知していきたい。

・委員

外国人の方が増えてきているので、それぞれの離島の旅館組合に外国人観光客への対応の仕方等をレクチャーしてもいいと思う。自身も食堂をしているが、外国人観光客がパッと来ても対応に困る。

・委員（市）

急激に増えるとそういうことも必要かと思う。今は指差しシートのようなものもある。旅館組合等に対して研修ができるように検討する。

○採決

原案どおり承認。

**５．その他**

**（１）鳥羽駅・佐田浜周辺地区における案内サイン改修の取組（中間報告）について**

○事務局説明

資料別冊に基づき、鳥羽駅・佐田浜周辺地区における案内サイン改修の取組について説明。

○委員からの質問等

なし

## (2) かもめバス路線再編に向けて

### ○事務局説明

別添資料に基づき、かもめバス路線再編に向けて説明。

### ○委員からの質問等

#### ・委員

中之郷廃止について、離島の間人としてはその方針について納得がいかない。そこを廃止されると非常に厳しく、怒りを感じる。何とかしてほしい。確かに人数が減ってきていて年寄りばかりになってきているのでおっしゃることは分かるが、だからといってそういう風にされると居たなくなる人も出てくる。

#### ・事務局

これから議論するが、今の定期船の状況からするとダイヤを減らすか乗り場を減らすかという対応になる。坂手に限らず他の離島も中之郷経由で乗り継いで行ったりする人もいるので、まだまだそういった意見は出てくると思っている。

#### ・委員

坂手はついでのように思われていると感じている人は多い。

#### ・委員

それは他の離島も同じで、車に乗れる人は良いが乗れない人等のために解決に向けて連携していくべき。そのためにバスを出しているから、待ち時間を短縮するとか本数を増やすなりしてほしい。

#### ・事務局

中之郷がなくなると、困る人が出てくるということは十分想像ができる。そのなかでバスのダイヤ改正もここへ入れてあり、いまでも来た時のバスの便はある程度対応している。

#### ・委員

バスは便利だが、船の便の時間が不便。

#### ・事務局

便数の話になるとまだ議論が変わってくるので、分けて話をしていきたい。地元の方が中之郷行くのにちょっと手間がかかるというところだと思う。またこれから定期航路幹事会という会議とは別に航路の審議会でも議論をしていただきたい。直すというよりはその方法を進めていく中で意見をもらい、定期航路の維持に向けてやっていかないといけないと思っている。

#### ・委員

中之郷がもし廃止されることになっても、救急船の関係もあるのでポンツーンは置いておいてもらわないといけない。佐田浜より中之郷の方が着きやすい。

#### ・事務局

また審議会の方で話を進めて、地域によっては地元へ行って話をすることも出てくると思う。いろんな相談をさせていただきたい。新船の話もあり、今年度は集中的に話をすることもあるが、将来的な維持も含めた議論をしたい。社会の情勢もどんどん変わっていくが、ご理解いただきながら審議をお願いしたい。

## 6. 閉会